| 3類型 | 鉱工業品 | 通巻番号 | 4－24－018 |
|---|---|---|---|
| 地域資源名 | 東濃の木工製品 | 認定日 | 平成25年2月4日 |
| 地　域 | 中津川市、恵那市 | 所管省庁 | 経済産業省 |

## 事業名：東濃の木工製品の「ハギ合わせ」技術を活用した木製新素材及びオリジナル家具・雑貨等の製造・販売事業

会社名：有限会社内木木工所　　所在地：　岐阜県中津川市付知町6831

連絡先：TEL：0573－82－4558　　ＨＰ：http://www.mokunet.co.jp
FAX：0573－82－4640　　http://www.tonono.jp

**事業概要（新たな活用の視点）**

・地元の東濃桧と長良杉を素材とし、東濃の木工製品に用いられる産地技術である「ハギ合わせ工法」を応用した特殊工法により木製新素材を開発した。さらに、本素材を用いたダイニングテーブルやフードプレート等の家具・雑貨等を製造・販売している。

・本素材は、東濃桧や長良杉をNCルーターで波型に切削し貼り合わせることによって、素材の柔らかさと温かさを維持しつつ、反り・ねじれを大きく抑えた点が特徴である。

【特殊工法による新素材】

**売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）**

**◆競争力**

・東濃桧や長良杉の針葉樹は、加工性に優れているが、一方で小径木であるため薄板にすると、反り・ねじれが出やすいという課題があった。この点を解決するために、高い精度で木材を曲面で切削し、ハギ合わせ（接着させ）ることで、従来では困難であった商品化に成功した。

・さらに、デザイナーと連携することで、現代のライフスタイルに合致したデザインの商品化を実現した。

【ダイニングテーブル】

**◆市場性**

・農林水産省の調査（平成23年）によると「消費者が生活に取り入れたい木材製品」の第1位が「木製家具」で40．7%と高い支持を集めている。木材製品に対して、木の香りや手触りを楽しむとともに、温もり・癒しを求める消費者ニーズが存在している。

**◆販路**

・高級志向で個性的なインテリア空間を好む層（30～40代の女性）をメインターゲットにし、インテリア関連の商社や小売店への販路開拓を目指す。また、新素材（ブランド名：Uパネル）そのものも家具メーカーや建材メーカーに対して販路開拓する。

【フードプレート】

**地域資源における関係事業者等との連携**

・地元の木工品製造事業者（つけち木工の会）や建築業者と連携しながら事業を進める。

・岐阜県が主催するイベントに参加するとともに、岐阜県の公的支援機関や岐阜県商工会連合会・中津川北商工会とも連携を強化させながら事業を進める。